

30th 丹波の森国際音楽祭 シューベルトアーテだんは2024 ひかみ街角コンサート

Classic JAZZ Live

〜 シューベルトとジャズの出合い 〜



ロールの魔術師
木村 おおじ

ストライドピアノ奏法の名手
小林 創

はじめとおおじ

Hajime & Oji

Feat.

木村 陽一

Yo. Kimura



トラッドジャズの伝道師
木村 陽一

2024年9月16日 (月・祝)

13:30 開場

14:00 開演

会場:丹波市立北小学校体育館

(丹波市氷上町絹山608)

入場料:500円 (高校生以下無料)

全席自由。定員に達した時点で締め切らせていただきます。
上履き (スリッパ等) のご持参にご協力ください。

お問い合わせ TEL.080-4282-4938 (大西)

主催:氷上街角コンサート実行委員会

出演アーティストProfile

はじめとおおじ (ピアノ&ドラムス)



日本を代表するストライド・ピアノの名人であり、星野源から大橋トリオ、アンサリー、安藤裕子など優れたミュージシャンたちにその音楽性を愛され共演している小林創と、ニューオリンズやスウィング・ジャズのドラミングを現代に継承する「ロールの魔術師」でお馴染みの木村おおじによるクラシックジャズユニット。2019年に結成。

ピアノとドラムだけの編成にもかかわらず、二人だけで演奏しているとは思えない重厚なサウンドで、古今東西、世界のあらゆる素晴らしいメロディを愛情を込めながら情緒豊かに演奏。高い音楽性を保ちながらも誰にでも楽しめる、二人の名人による非常にスリリングで情熱的に展開していくライブは必見。

2021年の春に待望のファーストアルバム"Always For Pleasure"をリリース。秋にはNHKの朝ドラ「カムカムエヴリバディ」のサウンドトラックと映像に参加。2022年の秋には一ノ瀬晶監督の長編映画「リ・ライト」の音楽制作を担当。俳優としても出演を果たす。

ライブ演奏からレコーディング、映像の楽曲制作まで幅広く活動し、今後の活躍が大いに期待されるピアノ&ドラムユニット。



木村 陽一 (ヴォーカル)

1938年東京生まれ。終戦直後、アメリカ進駐軍に自宅を接収され、一階部分に居住する進駐軍の将校が流していたルイ・アームストロングのレコードを耳にしてジャズに目覚める。

57年早稲田大学工学部に入学。早稲田大学ニューオリンズジャズクラブの創設メンバーとして熱心にジャズの本質を追求。61年松下電器に入社。同年、大阪で結成されたニューオリンズラスカルズのドラマー兼ヴォーカリストとして62年の長きに渡り国内外で活躍。

65年から3年間アメリカに留学し、米パデュー大学院で電子工学を専攻。大学内のニューオリンズジャズバンド、サルティードッグスに加入。休日にはニューオリンズに通い、伝説的なクラリネット奏者ジョージ・ルイスとの共演や、トロンボーン奏者ジム・ロビンソンのレコーディングなどに参加。2000年代にはアメリカのジャズレーベル、アーバーズレコード主催の米フロリダで行われたアーバーズジャズフェスティバルに自己のピアノトリオで3度に渡り出演。ルビー・ブラフ、フリップ・フィリップス、ミルト・ヒントン、バディ・デフランコなどの偉大なジャズミュージシャンたちと多数共演。

現在はドラムを引退し、ジャズヴォーカリストとして86歳になった今でも精力的に国内外で活動の場を広げている。